

どこに、どのようにするか?具体的な検討をしました!

市民ワークショップも3回目を迎えました。今回も多くの方々に集まって頂きました。現在のところ、敷地が確定していない状況ですが、保健福祉センター周辺か、大田中央バスセンター周辺か、の2カ所に絞られてきました。これまでに積み重ねてきた新しい地域の拠点のあり方に関する議論と、2回目のワークショップでつくった、6つの「空間の関係図」を基に、2つの敷地に当てはめた3つの「空間の構成図」が提案されました。

1つ目は、保健福祉センターを活用し不足機能を増築して必要機能を揃えるという考え方です。

2つ目は、保健福祉センターを活用し、公民館と図書館が一緒になった生涯学習機能を、不足機能を増築して整備する考え方です。

3つ目は、大田中央バス停付近に、交番、山口銀行敷地等を取り込んで整備する考え方です。

グループ毎に、この3つのケースについて10の評価項目で評価した結果、保健福祉センター周辺に整備する考え方が広く支持されましたが、何処に建てるかは向こう50年の美東地域のまちづくりの方向を決定づけてしまうともいえるため、もう少し議論を深めようということで結論は持ち越しとなりました。



31名の市民の方にお集まりいただき、議論が大いに盛り上がりました

第3回市民ワークショップ プログラム

- ステップ 1 はじめに
- ステップ 2 第3回市民ワークショップの流れを説明しました
- ステップ 3 第2回ワークショップを振り返りました
- ステップ 4 「空間の関係図」を基に作成した「空間の構成図」について説明しました
- ステップ 5 3つのタイプに整理した「空間の構成図」を2つに絞られた建設候補地を想定し、敷地に当てはめた「空間の構成図」について説明しました
- ステップ 6 「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価しました
- ステップ 7 どのタイプの提案が良いかみんなで考えました
- ステップ 8 まとめ



みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)

- ・まちの魅力、課題は何?
- ・こんな複合施設だったらいいな!



◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)

- ・こんな使い方ができたらいいな!
- ・建物の機能とつながりを考えよう
- ・総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう



◎第3回ワークショップ 2/14(金)

- ・計画案の比較検討
- ・建設候補地の比較検討



◎第4回ワークショップ

- ・建設候補地の比較検討

次回開催



◎第5回ワークショップ

- ・基本計画について確認

- ・パブリックコメントの実施
- ・住民説明会 5回(予定)実施



基本計画のとりまとめ



◎第6回ワークショップ

- ・配置、平面計画をみんなで考えよう
- ・内部と外部空間のイメージを考えよう



◎第7回ワークショップ

- ・平面計画、断面計画をみんなで確認
- ・建物の外観イメージを検討しよう
- ・建物の性能を比較しよう

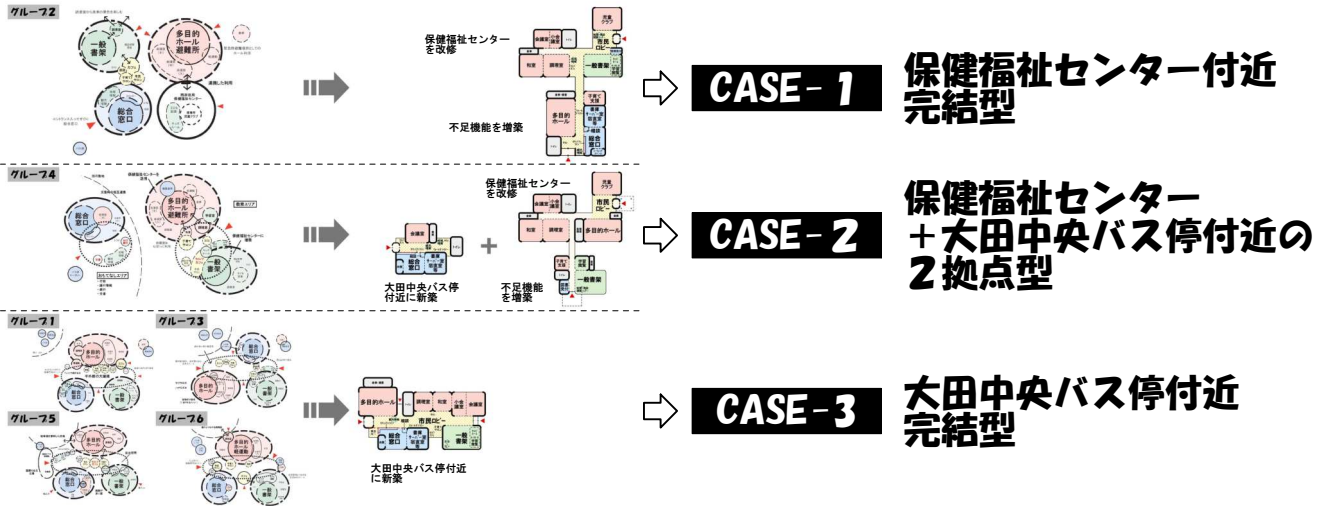


基本設計のとりまとめ

ステップ4：第2回ワークショップでみんなで作った「空間の関係」を基にした「空間の構成図」について説明しました

みんなで作った「空間の関係図」を簡略化・分類し、3つの「空間の構成図」に整理しました。

簡略化した「空間の関係図」を分類し、3つの「CASE」に整理しました。

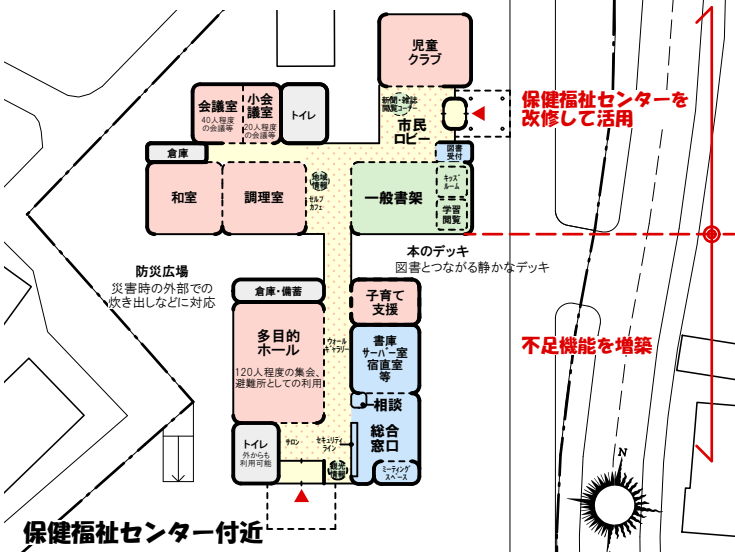


ステップ5：3つのタイプに整理した「空間の構成図」を2つに絞られた建設候補地を想定し、敷地に当てはめた「空間の構成図（イメージ図）」について説明しました

建設候補地毎に利用方法（建設プログラム）についてまとめたものを説明しました。
 それぞれの敷地に「空間の関係図」を当てはめた「空間の構成図」を作成しました。その内容について説明しました。

CASE-1 保健福祉センター付近 完結型

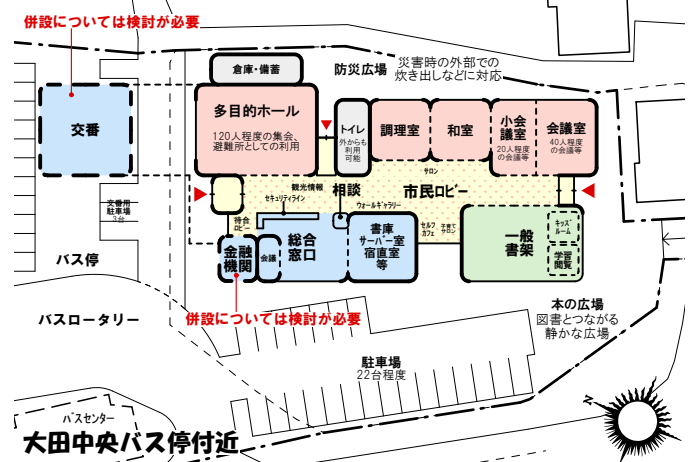
○保健福祉センターを活用+機能を補完



CASE-3 大田中央バス停付近 完結型

○大田中央バス停付近に「総合支所+公民館+図書機能」

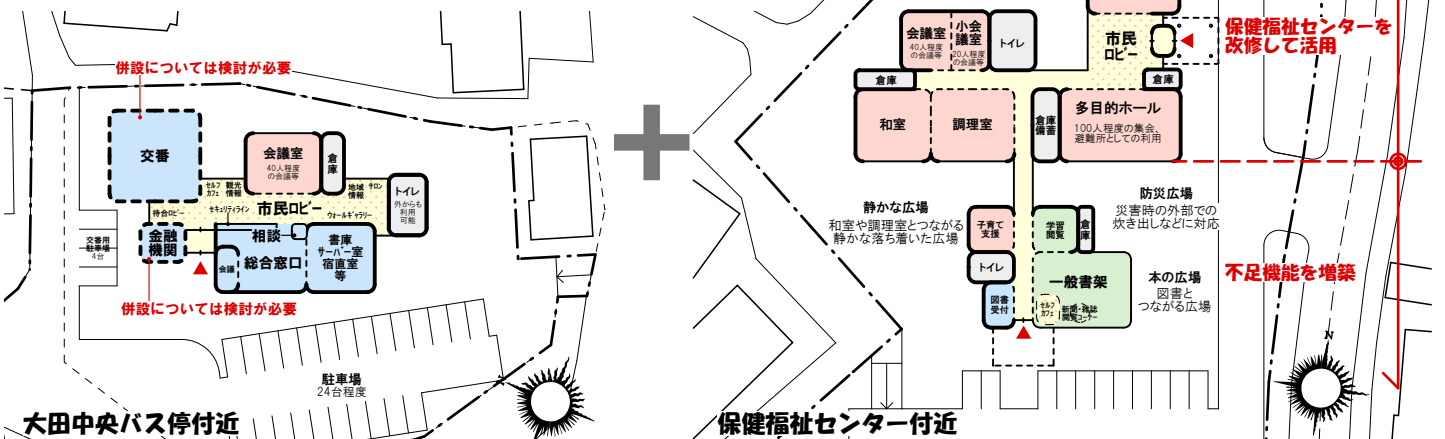
・保健福祉センター付近
 児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討



CASE-2 保健福祉センター付近+大田中央バス停付近の2拠点型

○保健福祉センターを活用+不足機能を補完…「公民館+図書機能」

○大田中央バス停付近に「総合支所+関連機能」



ステップ6：「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価しました

- 1) 評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も評価の高い案を一つ選んでシートに◎をつけました。
- 2) 意見が割れた提案があれば2番目の提案を1つ選んでシートに○をつけました。
- 3) グループ毎に各案の評価を発表しました。

グループ毎の「空間の構成図」の評価項目の集計表

数字は選んだグループの数を示します。

評価項目	CASE-1	CASE-2	CASE-3
1) 気軽に立ち寄れることができそうなのは？	◎：1 ○：2	◎：2	◎：3
2) 子どもたちが利用しやすいのは？	◎：6	○：2	○：1
3) 高齢者が利用しやすいのは？	◎：1 ○：1	○：1	◎：5 ○：1
4) 観光客・地区外の人が利用しやすいのは？		○：1	◎：6
5) 文化活動がより盛んになりそうなのは？	◎：4 ○：2	○：2	○：1
6) 図書館が使いやすいそうなのは？	◎：3 ○：1	◎：2	◎：1 ○：1
7) 管理がしやすそうなのは？	◎：4 ○：2		◎：1 ○：2
8) 建設工事が安くなりそうなのは？	◎：6		
9) 将来のまちづくりがうまく行きそうなのは？	◎：3	◎：1 ○：1	◎：2 ○：2
10) 避難所として安心して使えそうなのは？	◎：5		◎：1
グループ毎の総合評価	グループ1 グループ2 (グループ3) グループ4 グループ5	(グループ3)	グループ6

※グループ3についてはCASE-1かCASE-2で決めきれないという意見でした。

グループ1 最もCASE-1の評価が高い

一グループの意見一

- ・公共交通の面から安全度が高く、子供たちが寄りやすい、利用しやすい。
- ・これまでの保健福祉センターの活動を継続できる。
- ・敷地の取得が必要ないことや、現状の敷地で整備できる。
- ・交通の利便性や将来のまちづくりを考えると県道に面しているCASE3が良いのではないかと、という意見も出た。

グループ2 最もCASE-1の評価が高い

一グループの意見一

- ・建物に掛かる費用等を抑えることができ、道路の拡幅、バスの路線の変更など、可能性が高い。
- ・大田中央バス停につくる場合は、カーブで見えにくい。大規模な道路の拡幅などが必要となる。
- ・施設を複合した場合、図書館が子どもたちに近く、静かな環境可能であれば銀行も保健福祉センター側に移設することで「政治・教育の場」とし、道の駅周辺は「商業の発展する場」にできる。



評価項目をもとにどのタイプが良いのか議論しました



グループ毎に選んだタイプとその理由を発表しました

グループ3 CASE-1かCASE-2で意見が割れました

一グループの意見一

- ・大田中央バス停に総合支所を設け、保健福祉センターに図書館等の機能を併設し、高齢者が美東病院に通う方が多く、帰りに総合支所に寄って、くつろげるような建物が欲しい。
- ・CASE-1とCASE-2の保健福祉センターを利用することで、高齢者と子供たちが楽しく過ごせる場所になるのではないかと。
- ・総合支所を大田中央に設け、買い物や病院に行った後の待ち合わせ場所になるだろうし、山口市の図書館で借りた本を美東町で返せる仕組みを上手に利用良いのではないかと。

グループ4 最もCASE-1の評価が高い

一グループの意見一

- ・地区外の人にとっては、保健福祉センターに来るのに迷ってしまう。大田中央バス停付近は目立つ。
- ・保健福祉センターは公共施設が集まっているため、気軽に立ち寄れそう。
- ・道路が整備されアクセスしやすくなればより良い。
- ・車場の台数や敷地の広さから、一番広く取れそうで、文化活動が盛んになるのではないかと。
- ・一体管理、職員数や管理、警備の面、一箇所に集約した方が管理はしやすい。
- ・CASE3は用地代など考えると、かなりコストがかかってくる。
- ・教育特化のまちづくり。

グループ5 最もCASE-1の評価が高い

一グループの意見一

- ・病院があり、バスなど公共交通が整備されているという点がお年寄りや一般的に利便性が良いという評価となった。
- ・教育のまちとしてアピールしようという意見もあり、分けるのも良いのではないかと。
- ・CASE3は、用地の買収が必要になってしまう。
- ・既存の設備をできるだけ使って建設費を安くして、なおかつ色々な機能が果たせるということから、CASE-1となった。

グループ6 最もCASE-3の評価が高い

一グループの意見一

- ・大田地区の人だけではなく、他の地区の人達が利用しやすい。
- ・大通りに面しているため目につきやすく、人が集まりやすい。
- ・子供達が大通りに出ずに入れる安全な道をつくる必要がある。
- ・保健福祉センターでの機能を変えずに、児童クラブや子育て支援が利用できる。地域づくりの視点として中通りが活性化できるのではないかと。
- ・病院に近く、バスを待つ間に図書館を利用できる。
- ・将来のことを考えると大通りに面していると良い。
- ・避難場所として使ったとき体調を崩した方などにとっては病院に近い方が良い。

ステップ7：どのタイプの提案が良いか個人で選んでもらいました

- ・「空間の構成図」の案について、グループ毎の評価の発表を踏まえて、どのタイプの提案が良いか個人の考えで選んでもらいました。



現時点でどのタイプが相応しいか集計しました

CASE-1	CASE-2	CASE-3
14人	5人	8人

「気軽に立ち寄れそう」「高齢者や観光客、大田地区外の人々が利用しやすい」という評価項目ではCASE-3が評価を得ましたが、その他の評価項目ではCASE-1が評価を得る結果となりました。総合的にCASE-1を選んだグループは「用地の取得が必要ない」「既存保健福祉センター活用による建設工事費の削減」などの整備にかかるコストを抑えることができるという利点を主な選定理由として挙げていました。引き続き、新しい拠点をどこにどのように整備するのが議論を深める必要があります。

第3回 市民ワークショップ 感想カード

- それぞれのケースにメリット・デメリットがあり、他のグループの意見も参考になった。敷地をどこにするのがいいのかということは、個人的にもう一度よく整理しておきたい。
- 建設候補地について話し合いがむずかしい！！資料を見てよかった。たくさん話が出た。だんだんむずかしい内容がとて良かった。
- 色々な考え方、思いがある事を感じました。何事もお金がからむことなので、場所は決まらない状態。町の将来を考えるには大変良い機会でした。
- 「夢」のあるプログラムが現実味を帯びてきて色あせてきました！少し残念です。
- 今日の話し合いではCASE1が賛成多数でしたが、市側の説明ではCASE3の方針が主流のような感じがしました。公共交通機関の話は重要だと思いますが、ワークショップの意見もしっかり踏まえて検討してもらいたいです。また、用地費もふまえて上で、方針を決定してもらいたいです。個人的には教育に力を入れてほしいです。
- 存続が危機的な病院がある。住民は絶対に残してほしい思っている。病院が存続できるまちづくりを望む。
- いろんな立場の人の話が聞けてよかった。費用がかかる事でもあるし、将来の市民の状態をふまえ、有効な施設ができてほしい。
- せっかくみんなが一生懸命考えたことをもとにして、進めてほしいです。
- 今日の会議で3回になり、毎回時間が足りないほどでした。各自、自分たちの子供や孫達の将来の為にまちづくりですから、熱が入りました。次回もとても楽しみです。どんな出来上がりになるのかワクワクします。とても楽しみです。
- 建設場所の選定については、現実的な観点から（トータル予算）CASE1を選択したが、将来の美東町のまちづくりの観点から“教育”+“病院”+“老人介護”等を含めもっと協議を続けるべき
- 行政側が持つておられる情報をまず教えていただいて、議論に入りたかったなという思いもありますが、情報がなかったことにより、思考の幅が広がり、それにより様々な意見がでたのかなとも思います。課題を分類、整理していただいて、物事を考えやすいなと思います。ありがとうございます。建物もですが、それをどう運営し、生かしていくのか、その仕組みを考えていくことも重要だと考えます。
- 総合支所、病院、交通機関等考えれば、CASE-3がいいのでは？
- CASE-2の保健センターの改修をほとんどせず、お金をかけずに大田中央に拠点をつくるのが理想。今のCASE-2は、保健センターにお金をかけすぎなので、CASE-3+保健センターが良い

美東地域の新しい拠点づくりを考える 第4回 市民ワークショップについて

4月10日に予定していた、ワークショップは延期になりました。

日時：令和2年 5月中下旬 予定！！

会場：美東保健福祉センター 大ホール

4回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第4回市民ワークショップの内容

- ・計画案の比較検討
- ・建設候補地の比較検討

**事前申込不要
誰でも参加OK！**

○問い合わせ先

〒754-0291 美祢市美東町大田5936

美祢市美東総合支所 総合窓口課

電話：08396-2-5000 fax:08396-2-5111

メール：m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp

基本計画・基本設計策定業務受託事務所

株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)